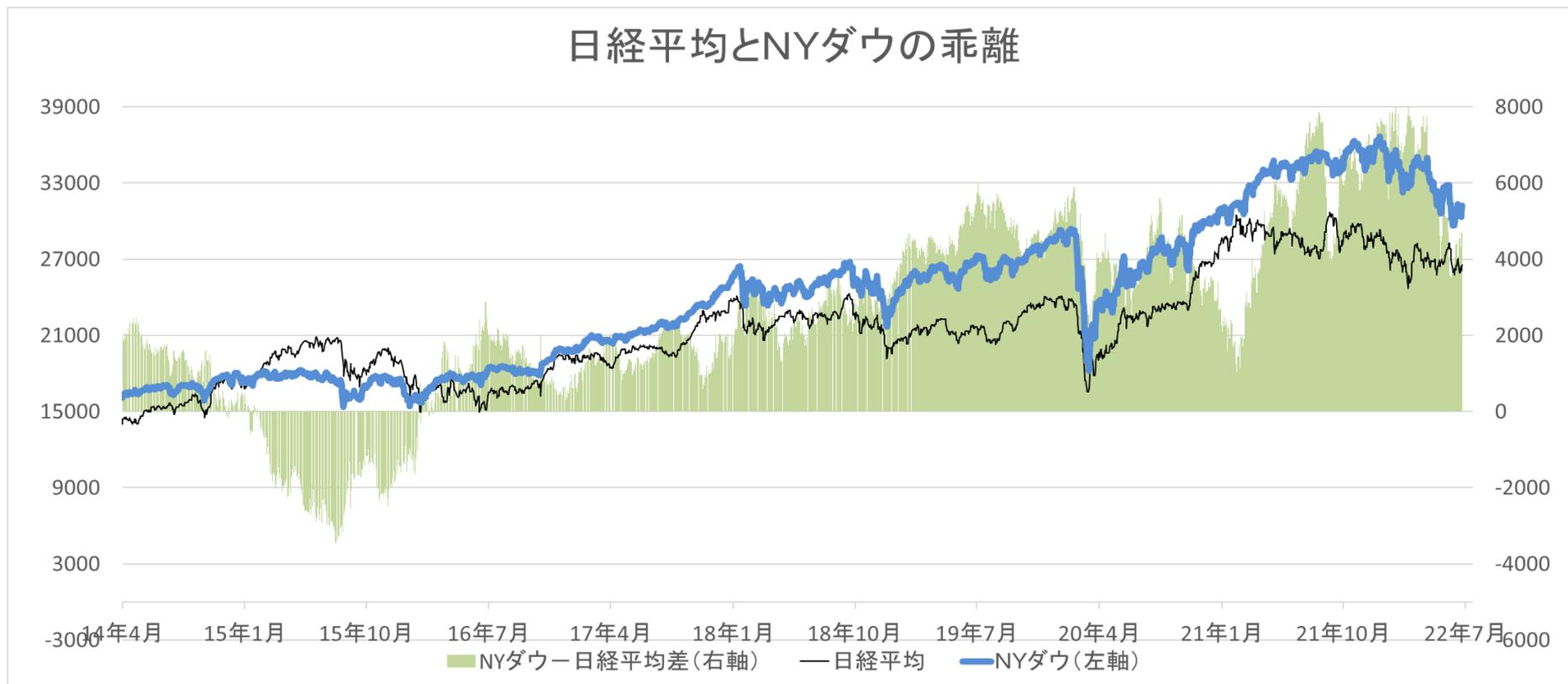


NYダウ、日経平均のペアトレード

- NYダウ売り、日経平均買い
 - スプレッドの拡大に着目



NYダウ、日経平均のペアトレード

➤ NYダウ売り、日経平均買い

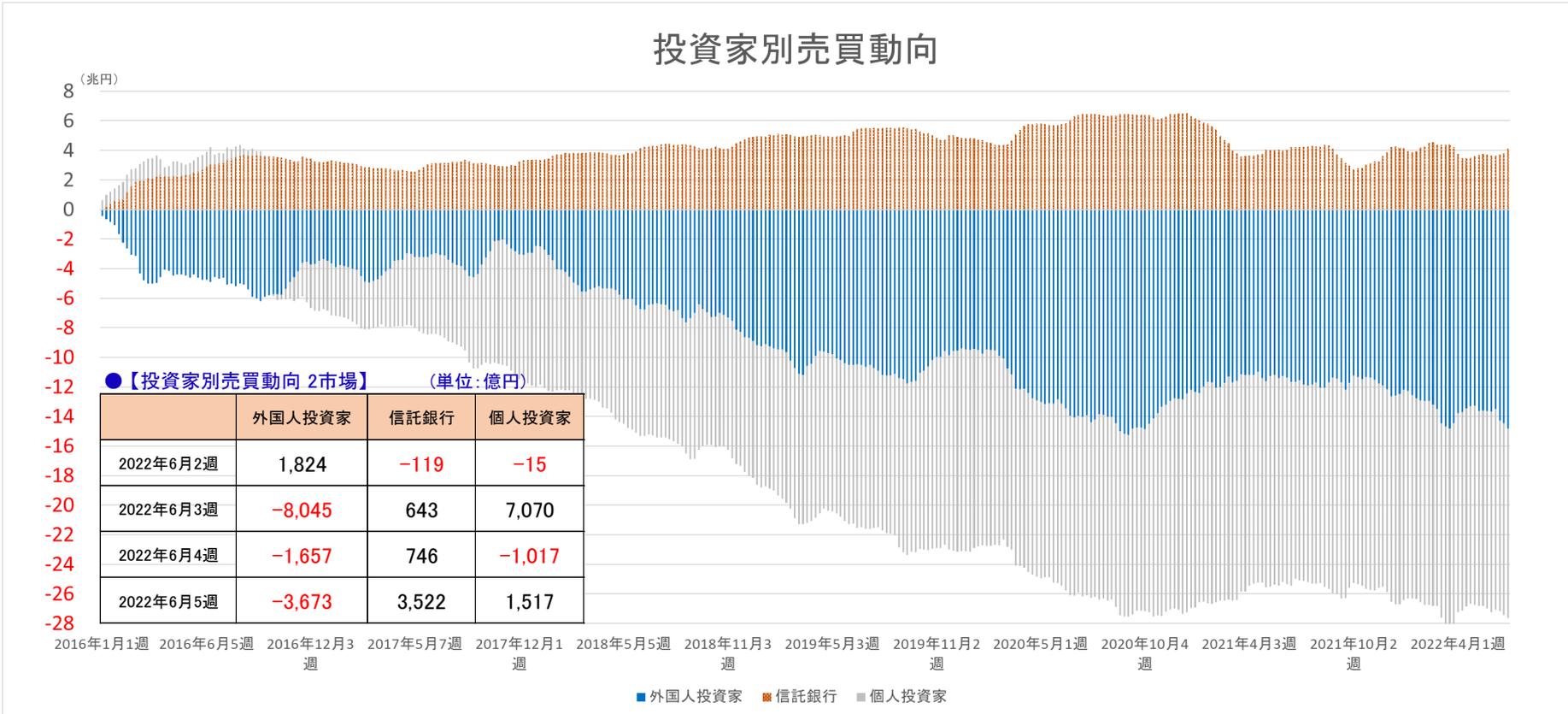
➔ 日経平均：上値重いが、底堅い

➔ NYダウ：調整があれば幅が出る可能性



投資家別売買動向

- 昨年は外国人投資家の売りが続いたが年末買いに転換
- 外国人投資家動向のトレンドに注意。足元売り越し基調。



(出所: 日本取引所グループ「投資部門別売買動向」よりこころトレード研究所作成)

ドルベース日経平均推移

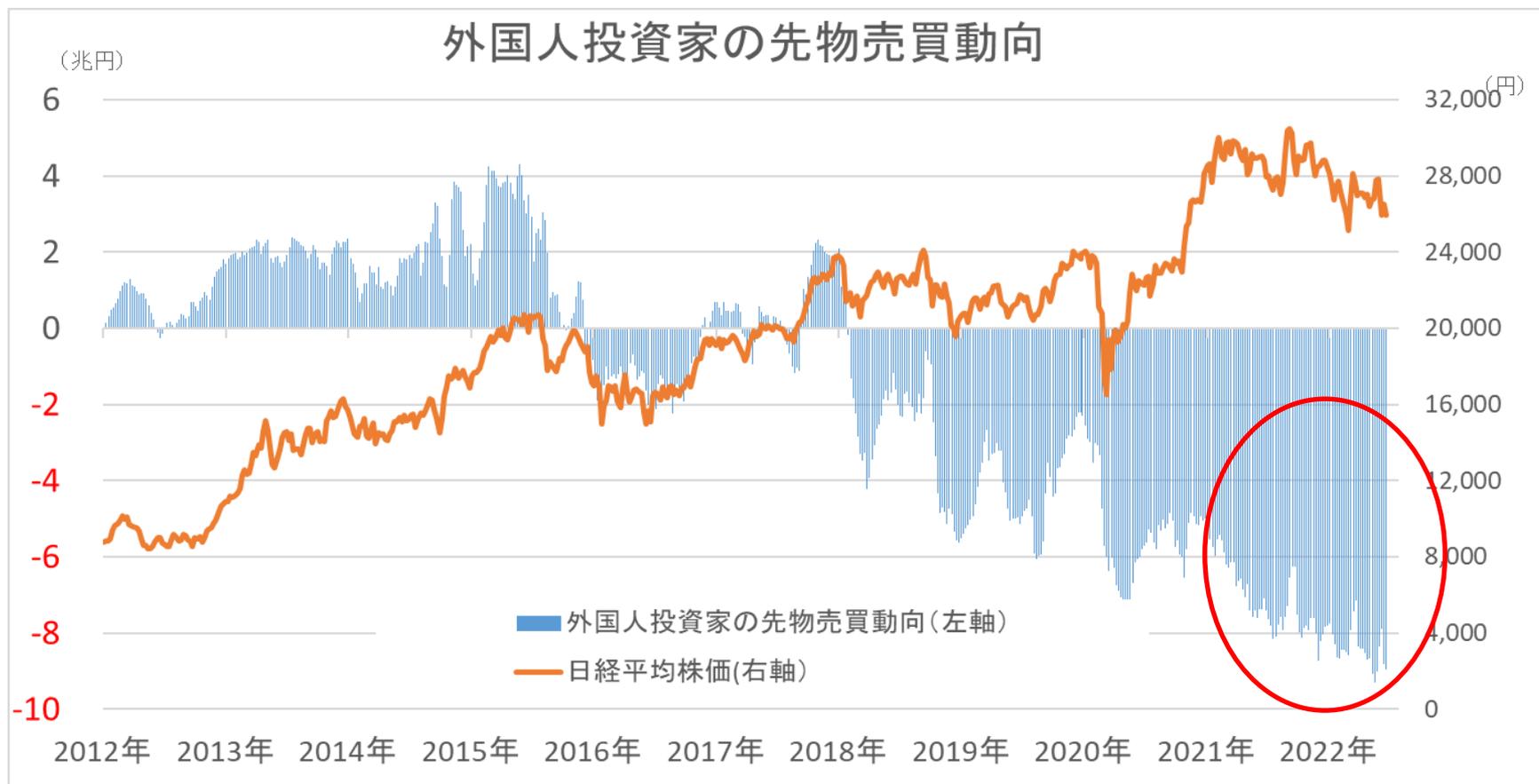
- 円安によりドルベースの日経平均株価の動きは芳しくない
- 日本株を売る理由、これから買う理由になるか



(出所: 日本取引所グループ等よりこころトレード研究所作成)

先物売買動向(外国人投資家)

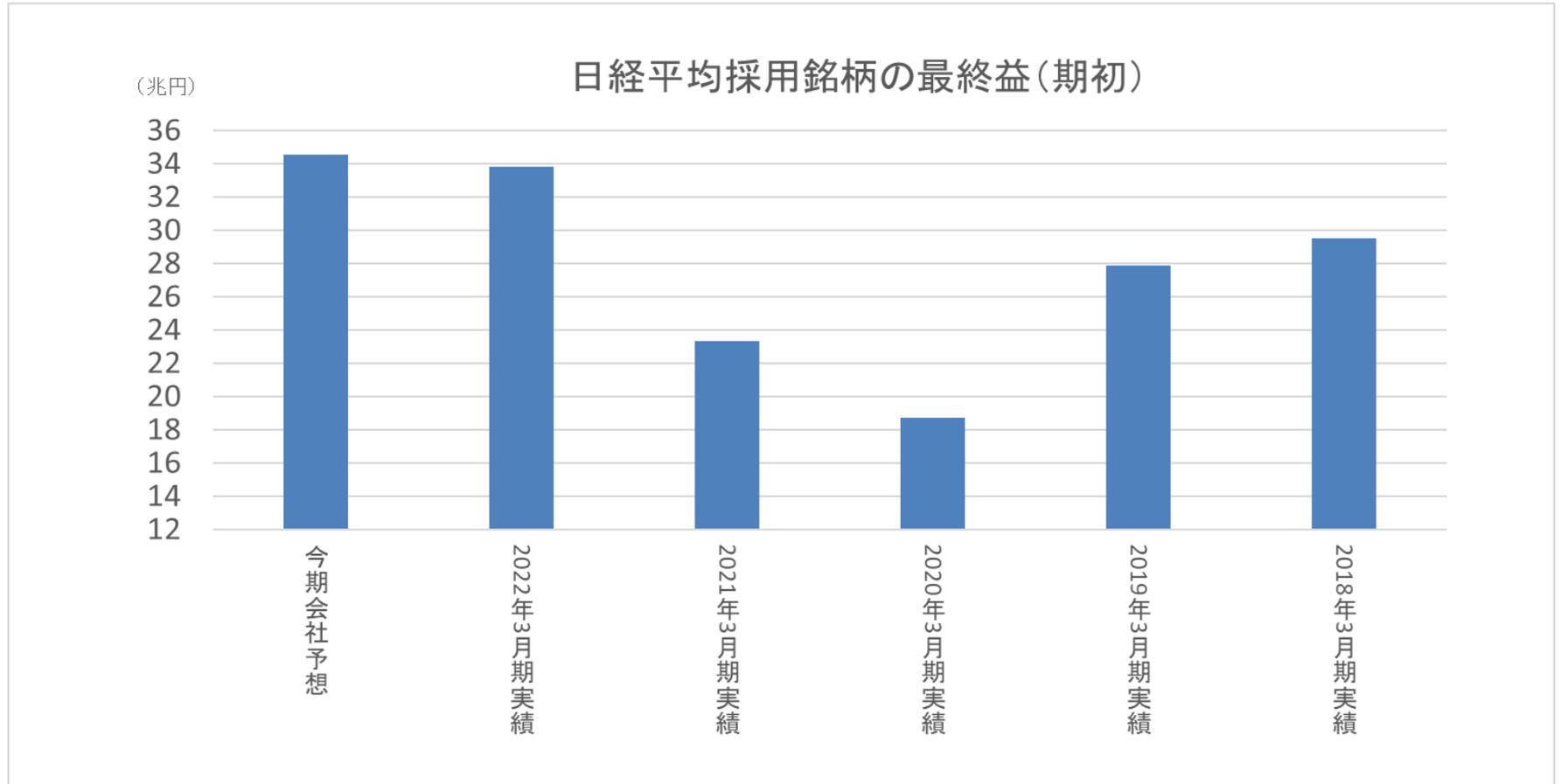
- 一昨年(2021年)は外国人投資家が約3兆円ほど買い越し
- 一昨年末(2021年末)から約5兆円売り越し1兆4千3百億円売り



(出所:JPXよりこころトレード研究所作成)

今期の日経平均採用銘柄業績予想

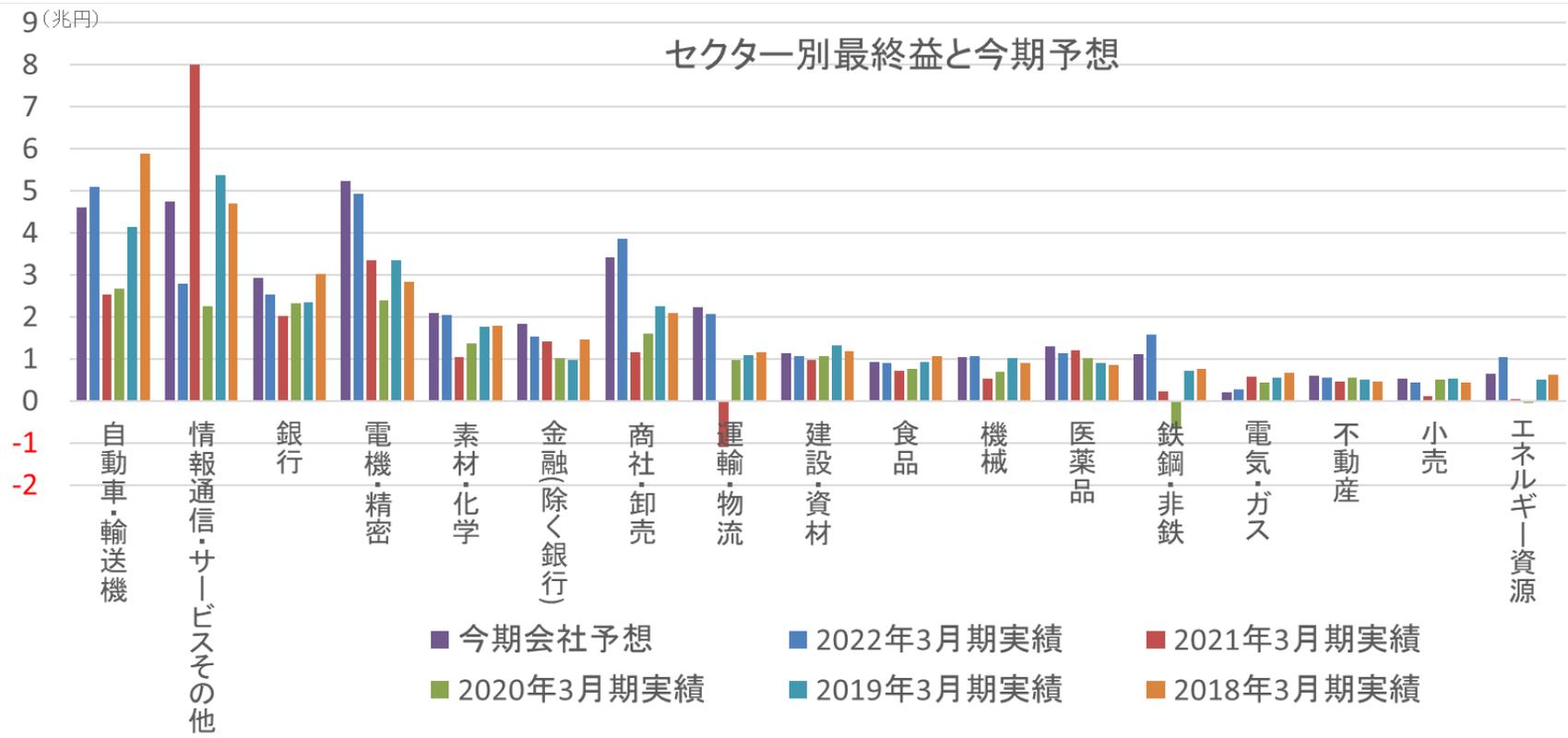
- 前期は過去最高益となった
- 今期も過去最高益予想で昨年を2%ほど上回る予想



(出所:各会社予想等から作成)

セクター別最終益予想（日経平均採用銘柄）

- 2022年3月期は過去最高益を更新、今期も更新予定
- 自動車の保守的な業績予想を見る限り、上振れあるかも？



(出所:各社会社予想等から作成)

米国2022年2Q決算動向

● +4.1%予想。低いハードルからスタート

- 2Q業績予想
 - 前年同期比+4.1%
 - 3/31時点は+5.9%
 - 低いハードルからスタート
 - この伸びは2020年4Q(+3.8%)以来の低い伸び
- 1Q決算は+9.2%
- 今期業績は+10.2%、来期は+10.4%予想
- 2Qの増益予想セクター
 - エネルギー、資本財・サービス、素材、不動産、情報技術など

足元の状況

● 地政学的リスク・金利を注視 米国:インフレ、日本:円安

➤ 足元の状況を点検: 米国

- 金融引き締め: 先の利上げ織り込み。利上げ幅0.5%? 0.75%?
- 金利動向、原油高、労働市場改善、ウクライナ情勢注視
- 業績: 1Q決算悪くない。今期も10%程度の増益予想

➤ 足元の状況を点検: 日本

- 円安の影響を注視
- 業績期待: 前期最高益。今期も最高益予想。
- 足元下落率が高い。高PERの選別買いがワークするか

➤ 見通し 米国: 金融引き締めを注視

- インフレ落ち着く→利上げ一服まで本格上昇は難しい
- 日本: 円安の影響注視。日本にもインフレ懸念か

7716 ナカニシ

- ハンドドリルなど歯科製品で世界首位級。工作機械も
- アフターコロナ通院増、展示会再開、円安、工場竣工で供給不安解消

7716 ナカニシ 東証

チャート 足一覧

日足 1年 閉じる



(出所) 岡三オンライン「ネットトレーダーWEB2」

資産運用ってしなきゃいけないの？

● 運用の必要性

- 老後の年金問題
 - 運用を前提にして試算している
- 家計の助けに
 - お金も働いてもらおう
- 低金利問題
 - 銀行預金に利子が付かない

資産運用の必要性

➤ 寿命が延びています

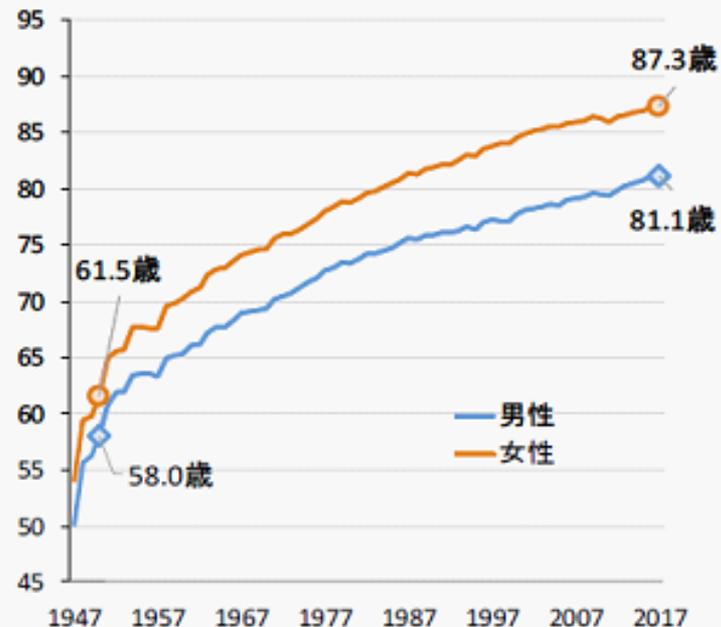
→ 長生きする分お金が必要に

60歳の人のうち各年齢まで生存する人の割合

	2015年推計	1995年推計
80歳	78.1%	67.7%
85歳	64.9%	50.0%
90歳	46.4%	30.6%
95歳	<u>25.3%</u>	14.1%
100歳	8.8%	—

(注)割合は、推計時点の60歳の人口と推計による将来人口との比較。
1995年推計では、100歳のみの将来人口は公表されていない
(出典)国立社会保障・人口問題研究所「将来人口推計」(中位推計)より、
金融庁作成

平均寿命の推移



(出典)厚生労働省「第22回完全生命表」、「平成29年簡易生命表」より金融庁作成

投資をやらない理由

● あなたが投資をやらない理由は何？

- 難しい
- めんどくさい
- 損をしたくない
- 時間が無い
- なんとなく怖い

投資のメリット

- 初心者でもわかるように投資のメリットをお話しします。
- 難しそうな投資ですが、レベルに合った投資手法で参加しましょう
- 「インカム」と「キャピタル」、「インフレ対策」
 - この二つをまず覚えましょう

投資のメリット

➤ インカムとは

→ 利子、配当金

→ 保有していたら貰えるお金

➤ キャピタルとは

→ 売買益

→ 売買で得る利益

口座開設で最大50000円キャッシュバック

くろく株365

新規口座開設で

取引枚数
に応じて

最大 **50,000** 円

キャッシュバックプログラム

プログラム内容

新たに岡三オンライン株365取引口座を開設されたお客さまを対象に、口座開設日の翌月末までの新規建ての取引枚数に応じて最大50,000円をキャッシュバックいたします。

※個人・法人のお客さまいずれも対象となります。

※既に証券総合取引口座を開設済みの方でも、「岡三オンライン株365」取引口座を未開設であれば対象となります。

くりっく株365入門オンラインセミナー



はじめてでも**安心!**  **くりっく365** **くりっく株365**

- ✓ FXやくりっく株365の基本的な仕組みを知りたい!
- ✓ 興味はあるけど、よくわからない...
- ✓ まずは何かから始めたらいいの?

参加費
無料!

オンライン
セミナー

初心者向け

はじめてのFX・くりっく株365入門セミナー

📌 オンラインセミナー開催までの流れ

STEP1	STEP2	STEP3
申込	日程確定	セミナー開始
「オンラインセミナーのご予約はこちら」ボタンより、お申込みをお願いいたします。	担当者より電話にてご連絡させていただきます。ご都合の良い日時をご相談させていただきます。	お約束の日時に電話にてご連絡させていただきます。インターネットに接続されたパソコンやタブレット等をご用意いただき、お待ちください。
 オンラインセミナーご予約はこちら		

くりっく株365 8つのポイント

くりっく株365の8つのポイント



投資対象は
日経225
NYダウなど
代表的な株価指数



新商品
NASDAQ-100
が仲間入り！



取引時間は
ほぼ24時間
祝日も



配当あり
日経225は1枚あたり
約45,000円
(2021年の年間合計金額)



1年に1度の取引最終日までであれば、
いつでも取引可能



海外の株価指数も
円で取引できる
から為替リスクなし



証拠金は数千円から
少ない資金
で投資できる！



相場下落局面でも
チャンス
「売り」
からも取引OK！

くりっく株365は配当がもらえます

● 買いポジションは配当が受け取れる ※DAXを除く

	買いポジション	売りポジション
金利相当額	支払い	受取り
配当相当額	受取り	支払い

※金利相当額については、ポジションをロールオーバーした際に発生します。

※配当相当額については、権利付最終日にポジションをロールオーバーした際に発生します。



2021年の配当相当額実績

日経225リセット付証拠金取引 	年間8回 計 45,375 円 / 1枚あたり 2021年12月末時点の必要証拠金 89,080円 (1枚あたり)
NYダウリセット付証拠金取引 	年間79回 計 6,270 円 / 1枚あたり 2021年12月末時点の必要証拠金 7,170円 (1枚あたり)
FTSE100リセット付証拠金取引 	年間49回 計 24,914 円 / 1枚あたり 2021年12月末時点の必要証拠金 13,570円 (1枚あたり)

※金利相当額の支払い額が、配当相当額の受取り額を上回る場合があります。

くりっく株365は配当がもらえます

● 3月と9月は日経225の配当に着目

➤ 日経225(日経平均株価)

→ 配当が集中している月(3・9月)に着目した投資

年	配当相当額/ 金利相当額	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1年間の 合計
2022年	配当相当額	159	1,312	23,730										25,201
	金利相当額	0	0	0										0
2021年	配当相当額	133	1,216	17,855	0	0	2,807	155	1,249	18,193	0	0	3,767	45,375
	金利相当額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2020年	配当相当額	148	1,586	17,826	0	144	3,140	162	1,184	14,282	0	0	3,413	41,885
	金利相当額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(出所)東京金融取引所